

令和7年度 二宮高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	職員の綱紀保持と服務規律の確保に努め、公務員として絶対に不祥事を起こさないという法令遵守の意識と高い倫理観をもって職務に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> 年度当初に管理職と若手職員との個人面談を実施し、関係資料を用いて法令遵守の意識啓発を行った。 定例職員会議に合わせて研修会を実施した。校内グループが輪番でテーマを選定するとともに職員が主体的に運営することで、職員一人ひとりが「自分ごと」として捉えることができた。 8月、2月に不祥事防止研修会を実施し、個々の職員の意識を高めた。
職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	人権及び男女共同参画等を踏まえ、職場のハラスメントをなくし、皆が働きやすい職場をめざす。行為を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> 12月にアンケートをとり、実態を把握し、特にないことを確認した。 組織的な校内巡回や管理職面談等通して情報収集に努め、ハラスメントに係る課題の把握に努めた。 5月、12月に不祥事防止研修会を実施し、職場のハラスメント防止の意識及び人権意識を高めた。
児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	人権及び男女共同参画等を踏まえ、セクハラ・わいせつ行為を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> 管理職と若手職員との個人面談を実施し、SNSを通じた生徒との個人的なやりとりは絶対に行わないこと等について周知徹底した。 4月、5月に不祥事防止研修会を実施し、職員の人権意識及び教育公務員としての自覚、意識を高めた。
体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重し、「体罰防止ガイドライン」を遵守し、体罰・不適切指導を防止する。	<ul style="list-style-type: none"> 校内の生徒指導体制及び職員による巡回体制を見直し、日常の状況把握に努めるとともに、複数の職員で生徒対応をすること等を徹底した。 7月、12月にアンケートを実施し、教員に対して指導を行った。 7月に不祥事防止研修会を実施し、体罰・不適切指導に対する理解を深めた。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜業務に係るマニュアルや点検体制を整備し、不祥事防止を徹底する。また、成績処理や調査書作成等での事故やミスが起こらないよう複数チェック体制を構築する。	<ul style="list-style-type: none"> 6月に不祥事防止研修会を実施し、定期試験・成績処理について、試験問題及び答案の扱い等や成績資料作成及び点検体制等について、組織的に対応することの意義について周知徹底を図った。 1月に入学者選抜にかかる不祥事防止研修会を実施し、事故不祥事防止に対する意識を高めた。 組織的な点検体制を強化するとともに、管理職による最終チェックを徹底し、不安や疑問を全て払拭した。

個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の取り扱いについて最新の注意をはらうとともに、その流出を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> 職員に対し、生徒の個人情報の取扱いについて禁止事項と適切な手続きについて周知徹底を図った。 4、9月に不祥事防止研修会を実施し、個人情報等の管理、情報セキュリティに対する認識を深めた。 紙媒体の個人情報についても、所定の場所に施錠して保管した。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	教育公務員としての自覚を持ち、交通法規を遵守する。	<ul style="list-style-type: none"> 11月に不祥事防止研修会を実施し、交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守に対する認識を深めた。 12月上旬に「飲酒をしたら絶対に運転しない・させない」等について、繰り返し注意喚起し、職員の意識を高めた。
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	職員がお互いに積極的にコミュニケーションを図れる風通しのよい職場作りを行う。	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通して、職員同士及び職員と管理職間等において、積極的にコミュニケーションを図れる雰囲気・体制づくりに努めた。 3月に不祥事防止研修会を実施し、業務執行体制の確保に対する意識を高めた。
財務事務等の適正執行	経理に関する不適切な事務処理を防止する。	<ul style="list-style-type: none"> 財務事務調査の結果を全職員で共有し、不適切な会計処理等について理解を深めた。 10月に不祥事防止研修会を実施し、適正な会計処理について意識啓発を行った。

○ 令和7年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和8年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

令和7年度における本校の不祥事防止計画は、概ね計画通りに実施することができた。研修の実施にあたっては、教職員一人ひとりが不祥事を「自分事」として捉えられるよう事例を取り入れ、意識の喚起に努めた。また、管理職による定期的な校内巡視や教科準備室等の環境整備を進め、物理的な密室空間の解消と未然防止の徹底を図った。

しかし、県内では依然として不祥事が発生しており、本校においても決して予断を許さない状況にある。今後は、現在の取組を形骸化させることなく、さらなる緊張感を持って対策を講じる必要がある。次年度に向けては、日常的なコミュニケーションを基盤とした「同僚性の醸成」を課題とし、互いに声を掛け合い、小さな異変に気づける組織風土を構築していきたい。

教員の行動に対しては、管理職が引き続き十分な目配りを行い、全ての業務が組織的に遂行されるようリスク・マネジメントを徹底していく。性暴力やセクシュアル・ハラスメント等は、教育への信頼を根底から覆す許されない行為である。生徒が安心して学べる環境を守るため、職員の倫理観に訴え続けるとともに、厳正な規律と温かみのある対話が両立する学校運営に努める所存である。